



建設省告示第1399号

# 木造1時間耐火構造

チヨダ強化せっこうボード(タイプV、タイプV耐水BK)

# 木造1時間耐火構造

チヨダ強化せっこうボード  
(タイプV、タイプV耐水BK)

## 特徴

- ▶ 大臣認定不要
- ▶ チヨダ強化せっこうボードを使用することで、耐火性を担保
- ▶ チヨダタイプV耐水BKを使用することで、  
施工中の万が一の雨掛かりに対し、吸水とカビの発生を抑制
- ▶ 間仕切壁・外壁・柱・床・梁・階段・屋根に適合



耐火



防水



防かび

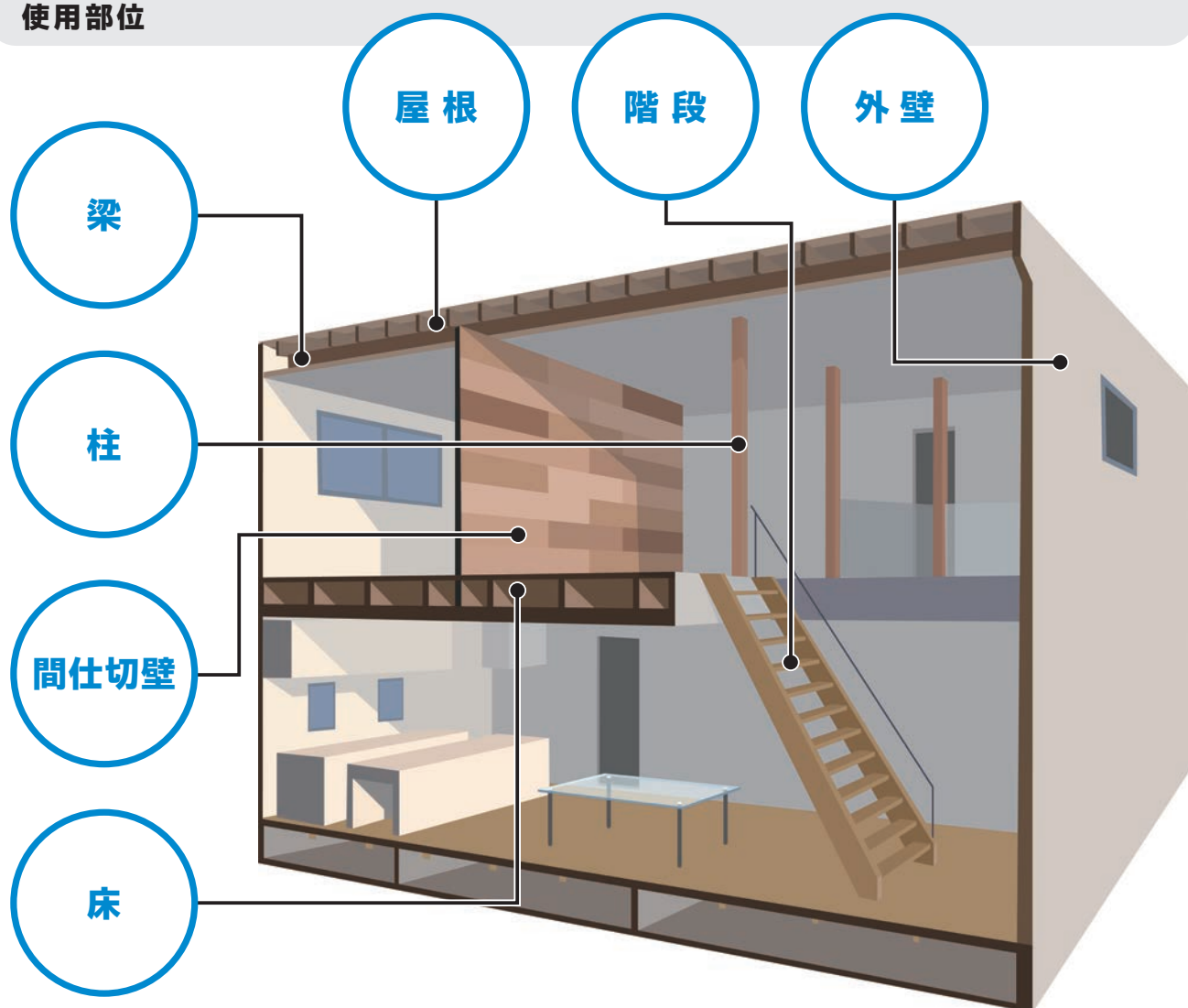


戸建住宅



非住宅

## 使用部位



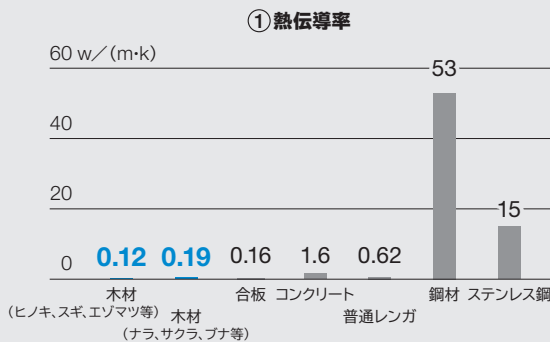
今まで大臣認定のみであった木造1時間耐火構造が告示化されたことにより、設計・施工の自由度が増しました。



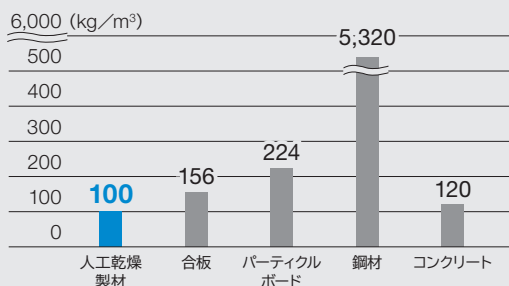
## 木材利用のメリット

- 1 狭小地に最適（木材は鋼鉄よりも軽量）
- 2 間取りやデザインの自由度が高い
- 3 健康的で木材の温もりある快適な生活空間の形成
- 4 断熱性（下記①参照）、調湿性に優れ、紫外線等を吸収
- 5 地球温暖化の防止等へ貢献（下記②参照）

### 温室効果ガスの排出抑制



### ② 各種材料の製造時における1m<sup>2</sup>当たりの炭素放出量



## 木造耐火構造の変遷

平成12年

建築基準法改正により性能規定化

耐火建築物であっても木造で建築することが可能に

平成16年

(一社)日本ツーバイフォー建築協会が耐火構造認定取得

平成18年

(一社)日本木造住宅産業協会が耐火構造認定取得

平成22年

公共建築物等木材利用促進法が施行

低層の公共建築物については原則として全て木造化を図ることに

平成26年

木造耐火に関する初の告示  
(国交省告示第861号より)

せっこうボードを用いた木造耐火構造の外壁、間仕切壁の仕様が告示化

平成30年

木造耐火に関する告示  
(建設省告示第千三百九十九号より)

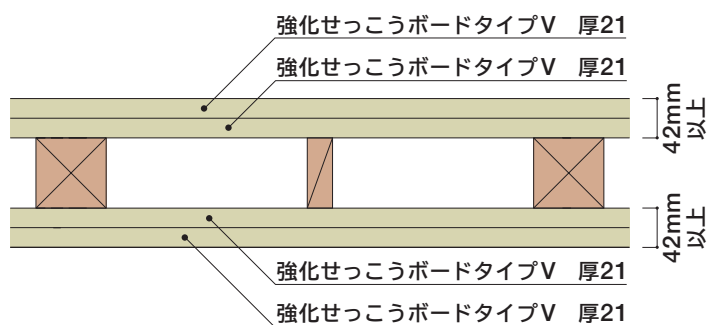
平成30年3月22日、耐火構造の構造方法を定める件(平成十二年建設省告示第千三百九十九号)の一部が改正され、せっこうボードを用いた木造耐火構造の柱・床・屋根・階段の仕様が可能となりました。

# 在来工法住宅

## 間仕切壁

在来

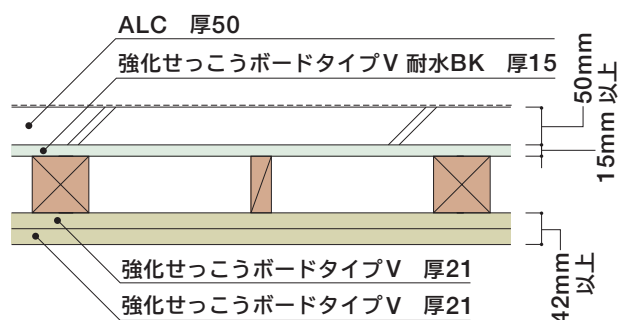
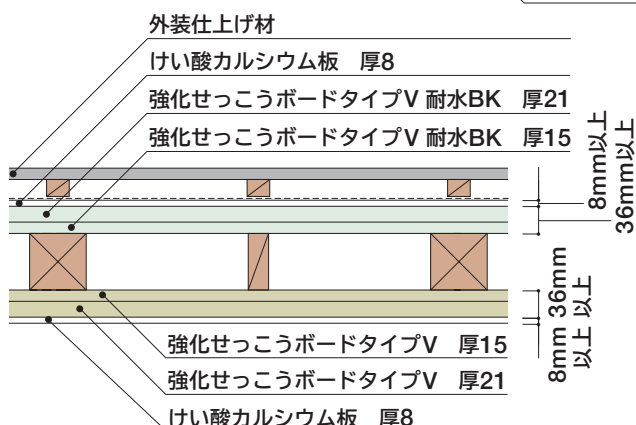
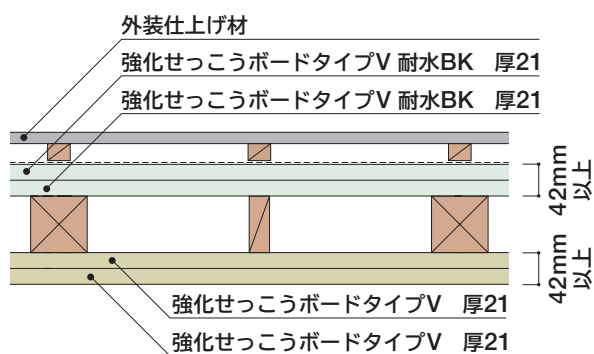
仕様概要	
下地	木材又は鉄材
断熱材	グラスウール又はロックウール(無機系断熱材)挿入可 ※推奨EARTHWOOL
被覆材(面材)	① チヨダ強化せっこうボードタイプV 総厚42mm以上 ② チヨダ強化せっこうボードタイプV 総厚36mm以上+けい酸カルシウム板 8mm以上



## 外壁

在来

仕様概要	
外装仕上げ材	金属板、ALC、窯業系サイディング、モルタル、しっくい (屋外側被覆材③の場合は、不要)
屋外側被覆材	① チヨダ強化せっこうボードタイプV 耐水BK 総厚42mm以上 ② チヨダ強化せっこうボードタイプV 耐水BK 総厚36mm以上+けい酸カルシウム板 8mm以上 ③ チヨダ強化せっこうボードタイプV 耐水BK 15mm以上+ALC50mm以上
下地	木材又は鉄材
断熱材	グラスウール又はロックウール(無機系断熱材)挿入可 ※推奨EARTHWOOL
屋内側被覆材	① チヨダ強化せっこうボードタイプV 総厚42mm以上 ② チヨダ強化せっこうボードタイプV 総厚36mm以上+けい酸カルシウム板 8mm以上

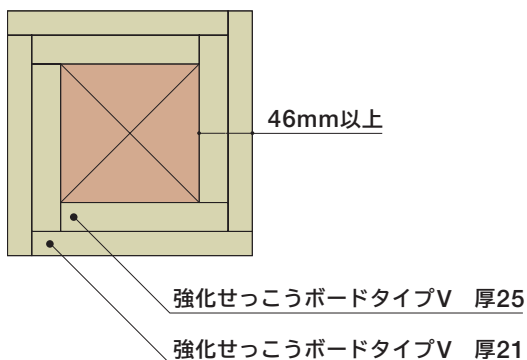


# 柱

在来

仕様概要	
柱サイズ	-
被覆材	チヨダ強化せっこうボードタイプV 総厚46mm

※独立柱の場合

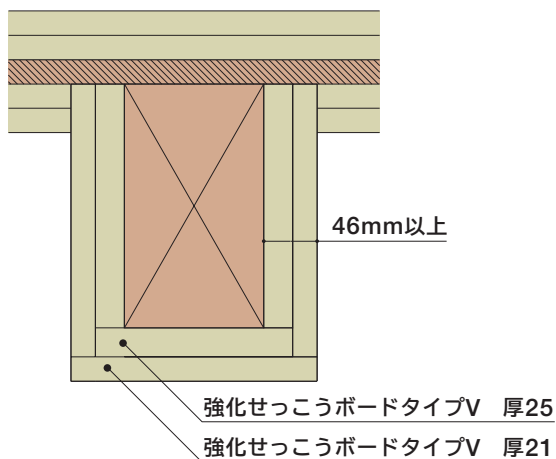


# 梁

在来

仕様概要	
梁サイズ	-
被覆材	チヨダ強化せっこうボードタイプV 総厚46mm以上

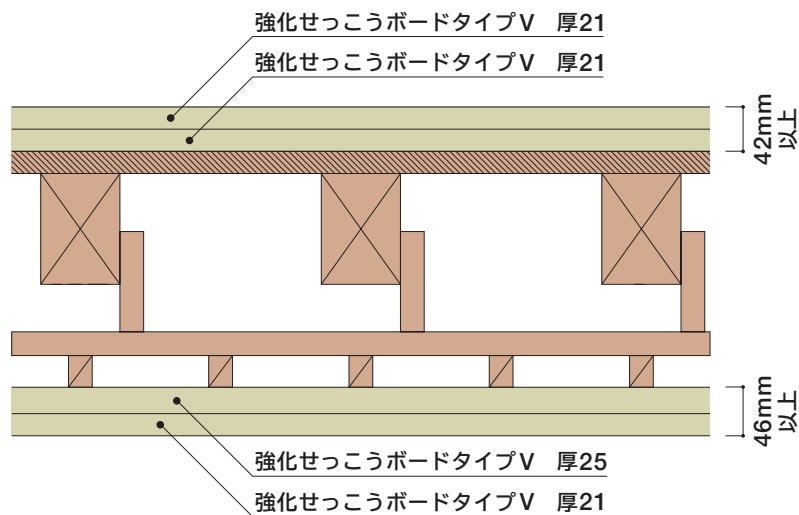
※独立柱の場合



# 床

在来

仕様概要	
床被覆材	チヨダ強化せっこうボードタイプV 総厚42mm以上
構造用面材	合板等
下地	木材又は鉄材
断熱材	グラスウール又はロックウール(無機系断熱材)挿入可 ※推奨EARTHWOOL
天井被覆材	チヨダ強化せっこうボードタイプV 総厚46mm以上

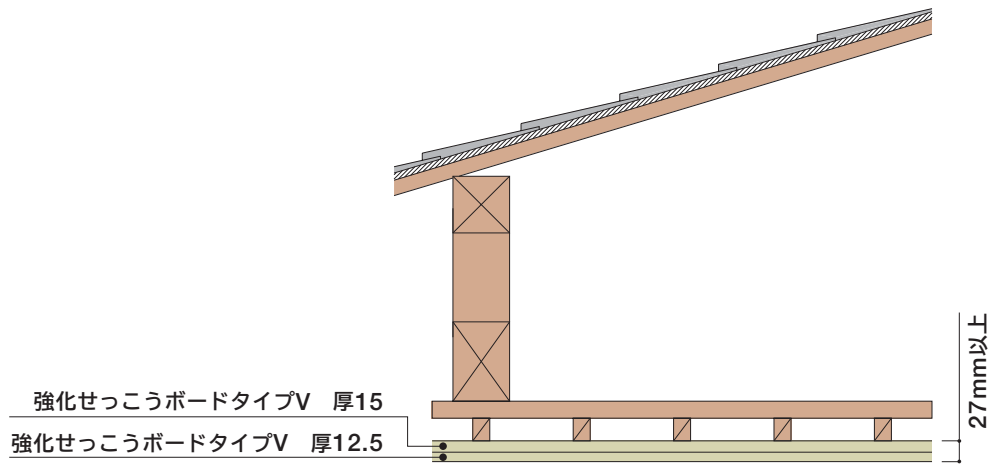


# 在来工法住宅

## 屋根 (耐火構造30分)

在来

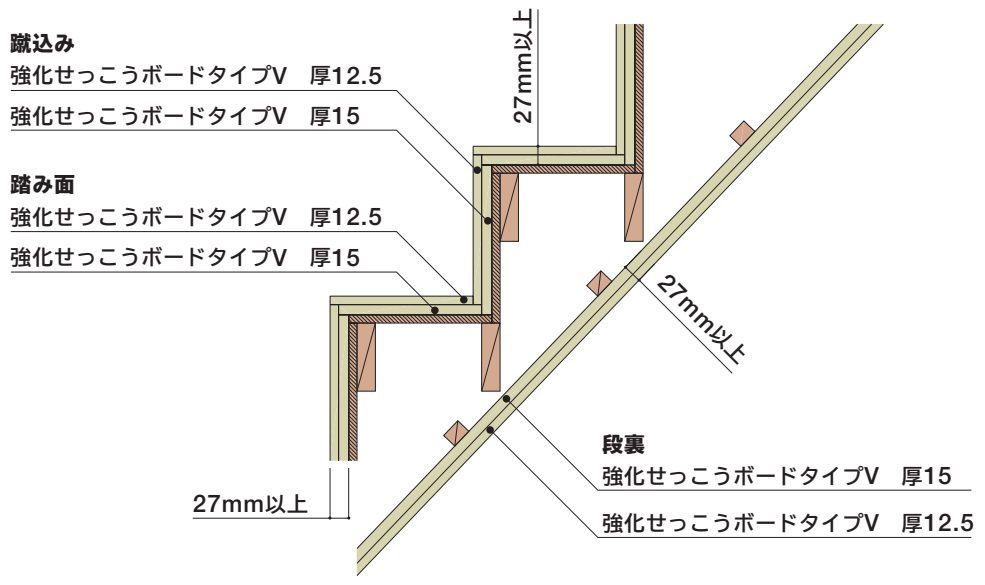
仕様概要	
屋根下地材	合板等
下地	木材又は鉄材
断熱材	グラスウール又はロックウール(無機系断熱材)挿入可 ※推奨EARTHWOOL
天井被覆材	チヨダ強化せっこうボードタイプV 総厚27mm以上



## 階段 (耐火構造30分)

在来

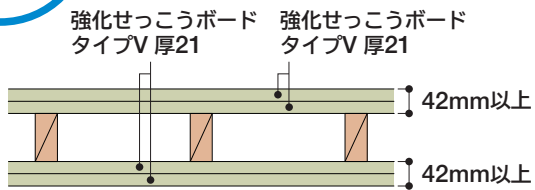
仕様概要	
蹴込み板	-
段板	-
表側被覆材	チヨダ強化せっこうボードタイプ 総厚27mm以上
裏側被覆材	チヨダ強化せっこうボードタイプ 総厚27mm以上



# ツーバイフォー工法住宅

## 間仕切壁

2×4

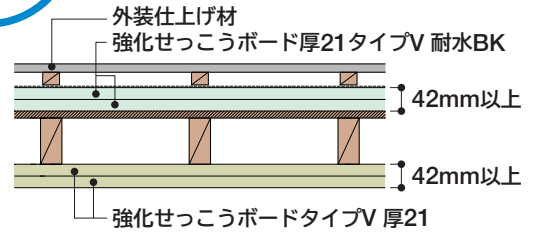


※他の被覆材仕様:

- ① 強化せっこうボードタイプV15mm+21mm+けい酸カルシウム板8mm
- ② 強化せっこうボードタイプV耐水BK15mm+ALC50mm

## 外壁

2×4

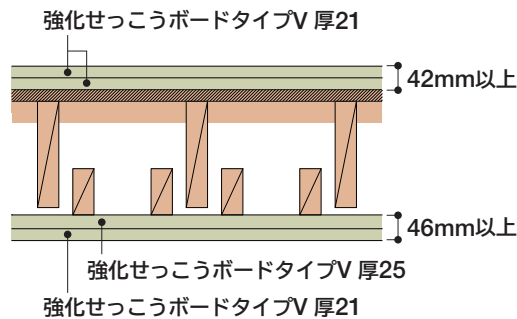


※他の被覆材仕様:

- 外装側 ① 強化せっこうボードタイプV耐水BK15mm+21mm  
+けい酸カルシウム板8mm
- ② 強化せっこうボードタイプV耐水BK15mm+ALC50mm
- 内装側 ① 強化せっこうボードタイプV15mm+21mm  
+けい酸カルシウム板8mm
- ② 強化せっこうボードタイプV15mm+ALC50mm

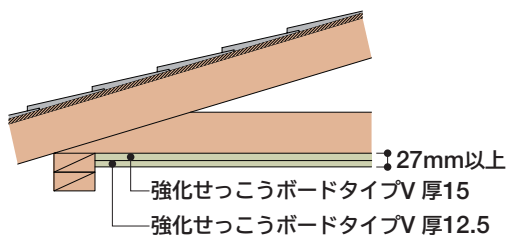
## 床

2×4



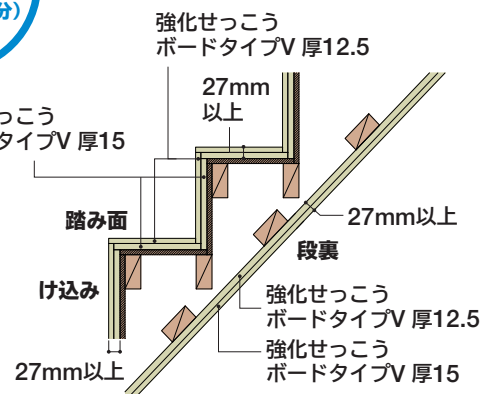
## 屋根 (耐火構造30分)

2×4



## 階段 (耐火構造30分)

2×4



## 仕様

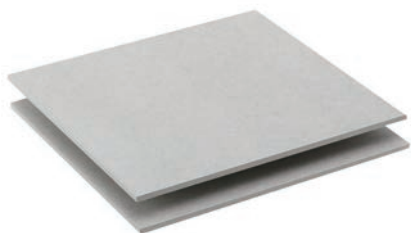
## チヨダ強化せっこうボード タイプV

厚さ(mm)	端部形状	寸法(尺)	寸法(mm)	防火材料認定番号
12.5	ベベル	3×6	910×1,820	NM-8615
15		3×6	910×1,820	
		3×8	910×2,420	
21		3×9	910×2,730	
		2×6	606×1,820	
25		2×8	606×2,420	
		2×6	606×1,820	

## チヨダ強化せっこうボード タイプV耐水BK

厚さ(mm)	端部形状	寸法(尺)	寸法(mm)	防火材料認定番号
15	ベベル	3×6	910×1,820	NM-3964
		3×8	910×2,420	
21		2×6	606×1,820	
		2×8	606×2,420	

## 推奨製品



## チヨダセラボード (けい酸カルシウム板)

住宅、ビル等の各種建築物の内装材として用いられる不燃建材です。

## チヨダウーテ株式会社

## 札幌支店

〒003-0027 北海道札幌市白石区本通14丁目北5番30号  
TEL (011) 865-7100 / FAX (011) 865-7105

## 東京支社

〒111-8520 東京都台東区寿3丁目14番11号 蔵前チヨダビル6階  
TEL (03) 6635-1650 / FAX (03) 5828-2860

## 中部支店

〒510-8570 三重県三重郡川越町高松928番地  
TEL (059) 365-5211 / FAX (059) 364-5219

## 大阪支店

〒550-0015 大阪府大阪市西区南堀江1丁目1番14号 四ツ橋中埜ビル6階  
TEL (06) 6541-7735 / FAX (06) 6541-8060

## 福岡支店

〒811-2321 福岡県糟屋郡粕屋町内橋西3丁目6番1号  
TEL (092) 931-7373 / FAX (092) 931-7371

多くのお問い合わせをいただいております。電話が繋がらない場合がございます。ホームページのフォームからもお問い合わせいただけます。

認定書やカタログ一式は、  
ホームページからダウンロードできます

